

ほのぼの通信

社会福祉法人まりも会 清瀬療護園 広報紙

第59号

〒204-0023
清瀬市竹丘3-1-72
清瀬療護園
Tel: 042-493-3235
Fax: 042-493-3234
発行：地域福祉委員会（広報部門）

清瀬療護園3大行事 新緑の集い

ステージショーやゲームを楽しむ



清瀬療護園の3大行事である『新緑の集い』が4月30日（月・祝）の午後15時～18時行われました。
晴天の中、中野施設長のあいさつで会は始まり、利用者や職員、『ハンドベル演奏』、『ロックバンド』、『The Million Dollar Dog』の演奏、利用者参加のゲーム『ドキドキキーボード回しゲーム』、中央大学タツプタンスサークル『FREINITE』のショー



【職員によるハンドベルの演奏】ミトレを担当した職員は演奏後、「かなり練習はしたんだけど、ちよっと、まちがっちゃった」と笑っていました。

がありました。
佐藤副施設長の終わりのあいさつで会は終了しました。
見に来て下さったご家族の方々、出演者の方々、どうもありがとうございました。



【利用者の方の演奏】「もっと練習をたくさんやりたかったです。ハンドベル、難しかったです」（利用者の方）



青空の中
にぎやかに
新緑の集い



【若さ弾けるタップダンサーズ】
中央大学タップダンス・サークル
「FREIHEIT」のショー！！



【現代によみがえるビートルズの歌声】
ビートルズの曲・オールデイズを熱唱するロック
バンド「The Million Dollar Dogs」！



「ハイ、チーズ！」
タップダンサーの女性に囲ま
れて上機嫌の中村さん

～新緑の集い～

ドキドキ！ ボール回しゲーム！

どうやらつたら利用者の方に楽しんでいただけたか、まずそれを第一に考えて企画しました。ルールは、音楽に合わせてボールを利用者の方から利用者の方へ回していくき（渡していくき）、音楽が止まった時にボールを持っていき利用者の方に、コスプレ・グッズ（ワンポイントのもの）を身に付けてもらう、というものです。皆さん、ドキドキしながらボールを回していました。コスプレ・グッズを身に付けていただいた利用者の方には、景品を差し上げました。



総合防災訓練

消火・避難の手順を確認

1階活動室から出火したことを想定した「総合防災訓練」が3月7日（水）にありました。午前11時に出火を知らせる館内放送の後、職員は「指揮係」「避難誘導係」「消火係」「救護係」に分かれ、「手順」に従って行動、活動室にいた利用者の方々には職員の誘導でユニットエリアの食堂兼居間に避難しました。

ユニットに避難した利用者の方からは「防火扉が閉まり、う回路の喫茶店横が緊急時の通路になることが分かってよかった」「うまく避難で

きた」などの意見をもらいました。

今回の防災訓練で、職員は消火・避難の手順を確認しながら実施しましたが、「緊急時のトランシーバーでのやり取りの難しさ」「一部の防火扉がなかなかうまく閉まらなかった」こと等、

今回の反省を今後に生かしていきたいと思っております。



消防隊本部を設置



消火器及び屋内消火栓を操作する職員



ユニットエリアに避難した利用者の方々

運動支援の向上を求めて

理学療法士から学ぶ

2月～3月にかけて、理学療法士による生活支援職員への「運動基礎研修」が全7回ありました。

清瀬療護園の「運動支援」は、運動のやり方を確認しあう

生活支援職員



理学療法士だけでなく、理学療法士の指導のもと、生活支援員も実施しています。

支援員の運動支援技術の向上のために、理学療法士から手足の曲げ伸ばし、アキレス腱伸ばしなどの基本的な運動のやり方について学びました。

理学療法士に研修を受ける

生活支援職員



接遇向上委員会

発足しました

この度、職員の更なる接遇向上を目指し「接遇向上委員会」が発足されました。

新施設開設から一年、旧施設の時と比べると、地域の方がたくさん来園するようになりました。近隣の住民の方が会議室を利用したり、親子連れの方は「地域交流スペース（子

接遇向上委員会のメンバー



育てスペース」で遊んだり食事をしたりしています。

「喫茶ほのぼの」も盛況で、利用者の方やそのご家族様、地域の人たちの憩いの場になっています。

新施設設立にともない、私たち職員の目指す支援のあり方、施設の立ち位置がはっきりと提示されました。

◆想いとして：「笑顔のかけはし、笑顔をつみだし、笑顔をつなげる」
◆地域交流として：「手と手をつなぎ、みんなでつくる地域のかたち」です。

職員一同、その実現に向かって、気持ちの良いあいさつから、接遇向上に努めていきたいと思えます。

ベリーダンス・ショー

ベリーダンスとサンバ・カーニバルの「Gold Maya」（ゴールドマイヤ）さんのショーが3月25日（日）に広場でありました。魅惑的で情熱的な踊りを皆で楽しみました。
(G3・G4ユニット企画)



第2回オセロ大会

新施設に引っ越ししてから第2回目のオセロ大会が、1月から2月にかけて実施されました。

優勝は前回に引き続き、生活介護をご利用している小田島さんでした。

18名の方がエントリーされ、今回も白熱した試合が繰り広げられ、いろいろなたドラマガ生まれました。次回も盛り上げていきたいと思えます。



決勝戦の様子

「石川（直由美）さん（左）と、小田島さん（右）の対戦」

地域の団体(サークル)による催しも、毎月実施しています!

「清瀬市・声のボランティア」さん

毎月第4木曜日

「清瀬市・声のボランティア」さんは、紙芝居やいろいろなお話し、歌など、レクリエーショ

ンをしながら、利用者の方と交流を行う会です。
3月22日(木)は「どこかで春が」「富士の山」「ふるさと」などの童謡・唱歌のほか「北国の春」「世界に一つだけの花」などの歌謡曲を皆で歌い、「わらしべ長者」と「魔女さんまたあした」の紙芝居がありました。
紙芝居は、とても人気があります!



紙芝居をする「声のボランティア」さんと、それを観て楽しむ利用者の方



ピアノ伴奏で、皆で歌います!

「ほろほろコーラス」さんは、地域で活動しているコーラスのグループです。
毎回、ピアノの伴奏にのせて、季節の歌や人気歌謡などを披露すると同時に、利用者の方に歌詞カードを配り一緒に歌っています。
利用者の方が知っている歌ばかりなので、皆さん毎回楽しみにしています。

「ほろほろコーラス」さん
毎月第1水曜日



カラオケで皆を盛り上げてくれます!

「びっくりぼん」さんは、清瀬市竹丘地区を中心に活動しているグループです。毎回、開始時間になると、個性的な衣装で登場し、皆を驚かせてくれます。楽しい人たちがばかりで、カラオケ機材を使ったカラオケで毎回盛り上げてくれます。

「びっくりぼん」さん
毎月第2木曜日

清瀬療護園『喫茶ほのぼの』のご案内



『喫茶ほのぼの』は、昨年5月に清瀬療護園内（2階）にオープンした喫茶店です。おかげさまでたくさんのお客様に来ていただき、感謝しています。

小さなお店ですが、こだわりのメニューを取り揃え、テラス席もあります。

食事は「ほのぼのカレー」「具材プロゴロ・ビーフシチュー・ランチ（パン又はごはん）」等の他、各種パンがあります。

パンは毎日、当日の朝に焼いています。ソフトクリームもあります。地域貢献の為、低価格で提供しています！

地域の皆様にご愛されるお店をめざしています。どなた様でもお気軽にお立ち寄りください。ご来店、お待ちしております。

喫茶スタッフ一同

【営業日】

火曜日～土曜日
午前10時～16時
（15時30分ラスト
オーダー）



手作り作品 販売所

『喫茶ほのぼの』の入り口に、手作り作品の販売所を作りました。

地域の方の手作り作品の販売所です。一月ごとに販売者が変わります。

色々な手作り作品を販売しているので、お楽しみいただけると思います。こちらもどうぞご利用ください。

また出店者を募集していますので、ご興味ある方は喫茶店員までお声掛けください。



客席。外階段からでも入店できます。



テラス席もあります

近隣の皆様へ

旧清瀬療護園の解体工事が進んでおります。近隣の皆様には、工事車両の出入りや騒音等でご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

現在、旧施設のピロティー部分と池を取り壊し、更地になったところです。



旧清瀬療護園の正面付近から撮影

職員紹介

坂元 幸夫

(さかもと ゆきお)

(生活支援課)

昨年10月から、清瀬療護園で働かせていただくこととなり、はや半年が過ぎました。こちらでお世話になるまで、介護職とはかけ離れた職に就いていたこともあり、頭で考えていた介護と、実際の現場での介護とのギャップに驚き、この先介護職で働いていけるの不安になったことも多々ありました。

介護職に転職したのは、両親も高齢になり、いずれ介護が必要となった時、何も知らないよりは、仕事を通じて介護のやり方を知っていた方が良いのでは...という理由もあります。働き始めの頃は特に不安な思いにかられていました。しかし、周りの先輩職員の方々から、介護を全く知らなかった自分に介護の基本から親切丁寧な指導をしていただき、また利用者の方とかわる中で、少しずつ

ですが、この仕事を続けていける気持ちが出てくるようになりました。半年が過ぎた今でも、日々介護の難しさや大切さを感じている未熟者ではありますが、利用者の方が、いつも笑顔で穏やかな生活を送ることができると、支援をしていきたいと思っております。まだまだ皆様方にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからもよろしくお願致します。



山本 恵美子

(やまもと えみこ)

(生活支援課)

昨年9月に入職して7カ月経ちました。今まで介護の経験がなかったので、今でも日々勉強の連続ですが、利用者の皆さんに安心して身を任せることが出来る支

援員になれるよう、成長して行けたらと思っております。利用者の皆様、職員の皆様、これからも、どうぞご指導のほどよろしくお願致します。



山下 信子

(やました のぶこ)

(生活支援課)

昨年の11月に入職してから、約半年が経ちました。以前は、特別養護老人ホームで7年ほど勤めていました。清瀬療護園に「新人」として入職し、最初は本当に緊張しました。でも、そ



んな緊張をほぐしてくださったのが、ご利用者様、職員の皆様です。暖かく迎えて下さったことに感謝しております。これからも、いろいろなことに対し、新鮮と思える気持ち・学ぶ姿勢を忘れず、ご利用者様の生活がより快適なものとなるよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願致します。

編集後記

2月14日F、G3ユニットでバレンタインデーの「手作りチョコレート作り」がありました。溶かしたチョコレートの鍋の中に、串にさしたマッシュマロやドライフルーツを入れて、チョコレートを付けて皆で食べました...。うっかり写真を撮るのを忘れてしまったので、今回その記事はありません

◆当広報紙は年3回(5月・9月・1月)の発行です。より読みやすく良いものを作っていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願致します。

(生活支援課 須永)